

平成30年度「ともに生きる条例」について理解する研修会（浜町1区自治会）

実施結果概要

以下のとおり浜町1区自治会で研修会を開催した。

I 日時

平成30年12月20日（木）19:00～19:30

II 場所

浜町1区公民館

III 研修参加対象者

浜町1区自治会参加者約20人

II 研修会の概要

1 「ともに生きる条例について」（説明）（障害福祉課職員）

スライド資料を使用し、別府市の障がい者数の状況、条例制定の背景、主な取組等について、概要の説明を行った。

2 「障がいのある人が地域で暮らすために」（障害福祉課職員）

地域で暮らす障がいのある人が増加していくことが想定されるが、見守り支援や緊急時の対応などについては、地域に担ってもらう必要があることについて説明した。また、地域の人に求める障がいのある人への配慮として次のことをお願いした。

- ・ 車いすを押す、高いところにあるものを取るなど必要なときのちょっとした手助け
- ・ 異変があった場合の病院等への連絡など
- ・ 大声を上げたり走ったりなどの行動があったとしても、障がいの特性によるものと理解したうえで対応する
- ・ 外見からはわかりにくい内部障がいなどの「障がい」もあることへの理解

3 「基幹相談支援センターの活用について」（障害福祉課職員）

平成30年4月1日より基幹相談支援センターを設置したことを、「別府市基幹相談支援センター 区割り表」に基づき説明した。

4 「アンケート調査」

障がいのある人が地域で暮らすために必要なこと等についてアンケート調査を実施した（調査結果は別紙1）。

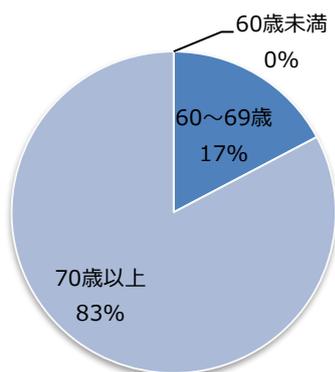


平成30年度「ともに生きる条例」について理解する研修会（浜町1区自治会）

アンケート集計結果

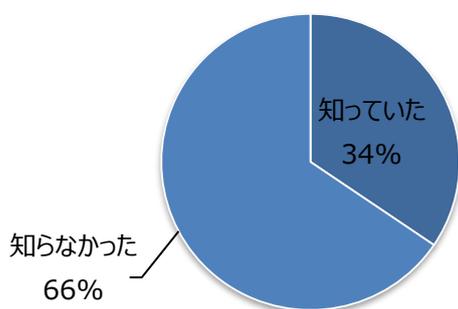
調査実施日 平成30年12月20日（木）、回収数 29

I 年齢



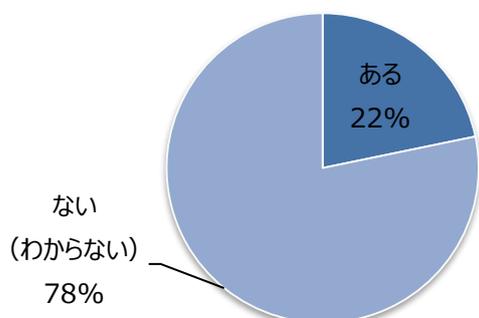
年齢区分	人数
60歳未満	0
60~69歳	5
70歳以上	13
合計	18

II 「ともに生きる条例」をご存知でしたか？



	人数
知っていた	7
知らなかった	11
合計	18

III お住まいの地域では、障がいのある人は地域行事への参加など地域での交流はありますか？



	人数
あると思う	3
あまりないと思う	15
合計	18

【内容】

・防災訓練、地域行事

IV 障がいのある人が地域により溶け込んでいくためには、どのようなことが必要だと思いますか？

* 複数回答可

	のべ人数	
「障がい」に対する理解	13	28%
日々のあいさつ、声かけ	13	28%
交流の場をつくる	4	9%
障がいのある人の地域行事等への参加	3	6%
障がいのある人の情報を地域内で共有	5	11%
障がいのある人からの情報発信（地域への要望等）	7	14%
その他	2	4%
合計	47	100%

【その他】

- ・偏見の目を持たない。共に生きる気持ち大切。
- ・障がい者の方たちが、地域行事に進んで出てもらいたい。
- ・南地区において障がいに対する話し合いをする機会を設けては。
- ・生活をしている中で、状況があった時は、親切に手伝っている。
- ・守秘義務があり、皆に名前を公表できない。

V 障がいのある人が暮らしやすいまちにするためには、どのような配慮が必要だと思いますか？

- ・互助、共生
- ・気配り、思いやりが必要。
- ・出会いを大切にする。
- ・車いす等出会ったらまずあいさつから。（知らぬ振りせず）
- ・皆さんで助け合い、声かけする。
- ・日々のあいさつ、声かけの実施。

VI その他自由意見

- ・スポーツ等集会に出来るだけ誘う。
- ・ゆめタウンでの買い物で会ったら、まず手助けする。（見て見ぬ振りが一番悪い）
- ・障がい者がいない。